

会 議 録

会 議 の 名 称	第 6 回 矢島地域協議会
開 催 日 時	平成 20 年 3 月 10 日 (月) 午後 6 時 0 0 分
開 催 場 所	日新館研修室
出 席 者 氏 名	出席者名簿』のとおり
欠 席 者 氏 名	赤川祐一、佐藤永吉、三浦良明、小沼文夫、佐藤伸一、三浦 省、相庭幸子 佐藤健美、三浦秀人、佐藤寿美子、打矢正敏、八坂美智子 12 名
会議次第 1.開 会 2.会長あいさつ 3.支所長あいさつ 4.協議 ・平成 19 年度版 さくらマップについて ・平成 19 年度における意見書の取りまとめについて (今年度協議した案件等についてフリートークにより意見のとりまとめ) 5.その他 6.閉 会	
会 議 の 経 過	別紙のとおり

出席者名簿
(21名)

(委員 16名)		
会 長 鈴 木 清		(事務 2名)
副会長 武内詔子		振興課 滝野由紀夫
秋 山 哲 朗	(本庁 1名)	振興課 佐々木有希子
佐 藤 政 一	理事 佐々木永吉	
茂 木 好 文		
土 田 龍太郎	(総合支所 2名)	
佐 藤 久 美	支所長 村上典夫	
小 番 功	振興課長 土田隆男	
相 庭 直 一		
土 田 典 子		
近 藤 正 満		
小 番 け い 子		
佐 藤 嘉 孝		
佐 藤 孝 義		
沼 倉 睦 子		
東海林 久美子		
東海林 晃		

平成 19 年度 第 6 回地域協議会

●鈴木清会長

6 回目に地域協議会を開催します。5 回目の協議会では、行政側から組織機構の見直しと施設の見直しについて説明していただきましたが、「あまり急すぎる提案がだな」と感じました。

6 回目の協議会では、今年度 4 回目まで協議した事項についてフリートーキングを行っていただきたいと幹事会で話し合われております。4 回目の協議会では、「中高連携校について」と「公共交通について」協議されておりますし、5 回目の協議会での行政からの説明を受けて、進め方が早すぎる等など意見が出ているので、それらを含めて行政への意見書を取りまとめたいと考えております。それを幹事会にお任せいただき提出していきたいと考えております。

●村上典夫支所長

合併して 3 年が経過しマンネリ的な感もいたしますが、合併時に要望があり設置された協議会ですので生かしていければと考えております。

2、3 点ばかり行政報告をさせていただきます。

ひとつは、前回急遽皆様にお集まりいただき、市の機構改革等について説明会を開催しましたが、議会でも「唐突」との意見をいただいております。本荘総合支所については廃止しますがその他の施設は今回、廃止を見合わせるということで、このあと地域住民の皆様への説明の中で再検討したいとのことであります。

それから矢島地域のことですが、除雪については今年は雪が多かったということで除雪に苦労したわけですが、住民皆様のご協力もあり順調に進んだところであります。

現在は、春めいた感じで一段落したわけですが、残念なことに雪害による事故等もあり矢島では人身事故等が 3 件ありました。そのうち死亡事故もあり非常に残念な事故が 1 件ございますが、屋根からのなでなどによる事故など 3 件ございました。

それから昨年の水害に被害ですが、まだ復旧工事を行っております。ただ個人での対応については、市からの補助もありほぼ終わっておりますが、道路関係が 22 ヶ所、農業関係が 12 ヶ所ありますが、事業規模等もあり 20 年度に延びる事業もあります。道路関係で 9 ヶ所、農林関係が 1 ヶ所あります。

それから最近石油関係が値上がりしているということから、市では生活保護世帯や高齢者世帯等に支援が必要とのことから灯油の購入費補助を行うことになっております。

矢島では 205 世帯が該当するということ、本人からの申請を待って 1 世帯 5,000 円を支給することにしております。

それから中高連携校ですが、冬期間は積雪のため工事を中断しておりますが、まもなく

雪解けを待って工事を再開する予定であります。ただ周辺の関連道路、学校通り線については冬期間も工事を進めております。国道から築館の橋までの区間は現在工事を進めておりますが、今年度中には、橋までの工事が終わる予定となっております。

それから、家庭から出たてんぷら油等の廃油の再利用ということ、それを処理して新しいエネルギーに変えるという試みがありますが、本市でははじめて矢島地域で県の補助を受けて佐藤久美さんが会長となり、組織を立ち上げております。地域に協力員がいる14地域で専用の回収ボックスを設けて家庭から出た廃油を回収することになっております。残る地域についても協力員をお願いでき次第に地域を拡大していきたいとのことです。

新年度予算については、現在議会で審議中ですが、新しい予算等もありますので次回の協議会ではご説明できるものと考えております。

今回は、先ほど会長さんからご説明がありましたとおり、これまで協議会で話し合われたものを取りまとめるとのことですのでよろしくお願いいたします。

協 議

- 鈴木清会長

さっそく協議にはいりますが、内容については、19年度版さくらマップについてですが事務局より説明をお願いします。

- 事務局

平成19年度版さくらマップについて、作成経緯、選定箇所について説明。

- 鈴木清会長

事務局より、さくらマップについての説明がありました。矢島地域から10ヶ所が選定されておりますが、これについて皆様からご意見をいただきたいと思います。

- A 委員

若い木が一本しかないのに載せるというのはどうかなと思います。

- 事務局

各地区から選定したいこともあり、家中地域からは龍源寺のさくらを選定しました。

- B 委員

選定箇所について、10ヶ所を選定するということで選定していると思うが、全体的にみて、老木に関しては50年経つと中から腐ってくるといわれている。例えば矢島の発電所のところもだいぶ腐ってきているし、神社さんのところも昔からあるものは腐ってきている。宮塚町長時代に駅前周辺にさくらを植えてかなり成長してきている。他の場所を桜

並木にするという計画がないとすれば特にいいのでないか。今後成木になれば駅前周辺は、すばらしいものになると思っている。

- C 委員

龍源寺さんはいいのですが、八森苑のしだれ桜が好きなんですけれども入れられないものか。

- D 委員

神社さんの桜はどうなるのか。このマップをみると矢島町は、集中している。家中地区だと龍源寺だとか八森苑だとかは皆さんが歩くところに咲いている。神社さんは、昔からの名所なので、神社さんの桜を少し植え替えて、老木になる前に植え替えていけばいいと思う。病気がついたときは、対処をしっかりとっていかねばいけないのでないか。今は、神社さんの桜が前のようになればいいなと思っている。

- E 委員

昔は、神社さん、郷内発電所とありますが、川辺地域では分校のところ桜が選定されているが、電力線に邪魔になるということから、枝を切られたりしている。これは、38年ごろに植栽したものである。かなり老木になってきている。木在橋のグラウンドのところにも植栽しているが、なかなか育たない。

- B 委員

10ヶ所については、支所で選定したということだが、いろいろな意見が出ているが、選定箇所の変更もできるのか。

選定場所を比べたときに自分の住む地域のさくら方がいいという意見も出てくるのでないか。

- 事務局

平成20年度版のさくらマップも作成予定となっているので、選定箇所の変更は特に問題ありません。矢島地域では、78ヶ所を選び出してその中から10ヶ所選定しております。

- A 委員

このさくらマップは一般にも配布する予定なのか。

- 事務局

現在のところ、ホームページ上に掲載予定となっております。

- C 委員

ホームページにこれだけのものを載せる上で、それぞれ開花時期が違うと思うが、見ごろ時期等の情報も載せる予定なのか。そのような情報が掲載されればいいと思います。

西目から東由利にかけて、開花時期が違うと思うのでその開花状況が掲載されれば見所があると思う。

- 鈴木清会長

例えば、神社さんの桜を植え替えたいという場合、市では、苗等の補充を行ってもらえるのか。

どの程度までやるつもりなのか。

- 事務局

グランドデザインが完成して、植栽箇所等が決定されたのちに、市で直接整備するのは難しく、地域の市民皆様の協力を得て、苗などの提供をしながら植栽するように進められるものと考えております。

20年度から税制改正があり、ふるさと納税が始まります。その寄付金を基金として、その一部を植栽に充てるということも計画されております。

- B 委員

地域のことはわかるが、他のことはわからないので、差し替えが必要な箇所があればここに出してもらって、もしないとすれば、1年はこれでいくというのはどうか。

- 村上典夫支所長

中屋敷会館からの鳥海山の眺望はすばらしい。

- B 委員

鳥海山の写真スポットとなっているので、あそこはいいと思う。

- C 委員

八森苑のところのしだれ桜についてもお願いしたい。

- 鈴木清会長

委員皆さんから意見がでましたので、事務局で検討いただきたいと思います。

- F 委員

ひとつ写真のことで要望があります。ここに掲載している写真は曇りに撮影した写真です。曇りの写真はだめなのです。特にさくらの写真は、晴天でないと花びらがさえない。曇りのときに撮影すると、花びらがさえない。どうしても曇りのときに撮影しなければいけないときは、空の部分のパーセントを90%ぐらいにしてその部分をできるだけ少なくしないと白いところに明るくなり、花が黒くなってしまいます。桜の咲く時期は天気が悪くてなかなか、いい写真がとれないと思うので、1年でバシッとはいかないと思うのでこまめに写真を撮って入れ替えていけばいいと思います。

- 事務局

今年度も、開花時期に撮影する予定となっておりますので、気をつけて撮影していきたいと思います。

- 鈴木清会長

さくらマップについて以上といたします。続いて意見書の提出についてであります、皆様から要望、意見をいただきたいものを取りまとめて提出していきたいと思います。

最初に中高連携校に関して、こうしてもらいたいとか要望等がありましたらお願いいたします。

- B委員

中高連携校には、この地域の子供たちを多く入れてもらうことが一番である。ただ、全体でも話あわれたが、矢島高校の存続には由利高原鉄道がどうしても必要であると思う。本荘方面からも子供たちが通学しているし、逆に矢島から本荘に行くことも考え、中高連携校と100%関係があるわけではないが、生徒の足として考えれば、鉄道の存続していかなければいけない大きな問題だと思う。実際は赤字が続いており今後存続問題がでてくとも考えられる。内陸線では廃止論議も出ておりますが、鳥海山ろく線ではまだ出ていないが、出ていないうちに高校と同時に鳥海山ろく線の存続発展を、矢島だけでなく沿線で乗車運動を進めていくべきだと強く思っている。

これまで中高連携校の委員等もやってきているが、具体的にこの地域の人の知恵を反映させるためにも、学校に入って行って子供たちと触れ合えるような環境を作ればというようなことも話し合われていた。また、協議会の分科会でも話し合われたが、ほかのところとは違うものを作っていければと思う。

- G委員

今の話で、由利高原鉄道とからめていくという話など、私たち住民の意識を変えてということも大きいのではないかなと思う。矢島高校だからあそこには入れられないというような形では駄目だと思う。やっぱり地元の中高連携の学校をみんなで育てていく、守ってい

く。そのような働きかけをしていかなければいけないのでないか。行政にお願いすることもいいのですが、地域に住んでいる人が関わっていけるような色々な方策を考えていかなければいけない。例えば、老人クラブがそこに定期的に行くとか、そこで会を開くとか、ゲートボールを行うとか、保育園児がそこに顔を出すとか、地域の人たちが常に関わっていけるようなものがあれば、自分たちの高校を育てていくことができるのでないか。

地域の人たちに意識を培っていくことが大切だと思う。経済的な面から行っても本荘、西目などに通うのはお金がかかると、そのときに鉄道がなくなれば、バス代も上がってしまうし、そのようなことを絡めながら経済的な面からも情報を出していければいいのでないか。

- B 委員

矢島高校の就職先を先般卒業式にいつて見てきたが、私立を含めて大学にも 4 人受かっていた。6 年制の薬科にも 1 人受かっていた。公務員関係を受かっていた。あと T D K が結構採っているので、最近にないぐらい子供たちががんばったのだと思うが、進学、就職といい方向に進んでいると思う。この地域の学校なのだからこの地域の人が駄目だということがないようにしてかなければいけない。ここの出席している委員皆様にもこの地域の学校ということで P R 活動をお願いしたい。

- E 委員

川辺地域から寿康苑に来る送迎バスがあるが、それにおばこ号を利用するということはできないのか。

- B 委員

寿康苑の送迎バスは月何回ぐらい出ているのか。月 2 回ぐらいかなんらかの形で乗車運動を作っていかなければいけないと思う。

- G 委員

例えば、矢島中高連携校の情報を発信していくようなことはできないのか。卒業生がどこに行っているとか。このような行事があるとか、高校の広報もあると思うし中学校にもあると思うが、中高連携校ができたときには、それが見えるようにホームページもいいが情報として地域に見えればいいと思う。

- B 委員

非常に大事なことだと思う。矢島フォーラムの太田さんも中高連携校のこともあるので相当、力をいれようとしている。東京から発信しようとしている。

インターネットのことはよくわからないが、矢島のホームページは全然更新になってい

ない。やはり、情報の更新をしないとイケない。

- H 委員

たまにインターネットで自分の名前を検索したりするが、矢島フォーラムに名前が掲載されていて、あまり気分がいいわけでない。

- B 委員

掲載してもらいたくないとすれば、すぐ掲載したところによればいいのでないか。

- H 委員

掲載する前に、承諾を得ることが必要なのではないか。

- B 委員

断らないで載せられたのか。だから、クレームをつけなければいけないのではないか。

- H 委員

全員、掲載されたことを知っているのか。

- D 委員

インターネットをやれないからわからない。

- C 委員

委員の名前は公表になっているのか。

- 事務局

皆様にお配りしている会議録には、委員氏名が掲載されており、情報公開により矢島フォーラムに渡っているものです。地域協議会では「このようなことが話し合われている」ということが、矢島フォーラムに掲載されたということです。

- F 委員

今、インターネットのことが出ておりますが、中学校、高校などインターネットに載ることはいいことだと思うが、情報が全然変わらないというと、「みたくない」。もしそれをやるとすれば、専門にやり、1週間に一度は更新するようにしないとイケない。

小学校でも中学校でもやれる先生がいるときは、頻繁に更新されるが、いなくなると何年も更新されないということがある。作るとすれば、地域の人もあるし、他地域の人もあるような、視野を広いものから狭いものを織り交ぜながら作成しなければいけないと

思う。ホームページを作成するのであれば、専門の人を配置し、頻繁に更新しないと「み
たくなさ」だけが残るような気がする。

- B 委員

中高連携校の話から、ホームページに関する話がでたが、私もフォーラムのメンバーで
もあるが、名前がでるのは困るとの意見がでたが矢島地域だけに出るのであればいいが、
現在、個人情報のことが言われる中なので、もしだめだとすれば、掲載するのを止めるし
かないと思う。委員皆様はどう思うでしょうか。

- 事務局

その他のところでお話しする予定でしたが、市のホームページ上で4月1日から地域協
議会の構成や会議録等について掲載したいと考えております。

先ほどお話しがあった情報についてすべて掲載される予定となっております。

内容については、皆様にお配りしている資料にもありますが、協議会の設置目的や概要、
委員名簿、開催状況、会議録等を掲載する予定となっております。また、本日も協議内容
となっている市に提出する意見書等も掲載する予定となっておりますので、委員皆様にも
ご理解をいただきたいと思います。

- F 委員

中高連携校の情報であります、広報配布の際に、公民館などのチラシが入ってくるが、
あのようなものを月1回でも何ヶ月に1回でも配布すれば、住民に情報が伝わり、意識が
高まると思う。

- B 委員

「日新」という高校で出している広報紙がある。

- F 委員

知っております。でも今後中高連携校になった際に話ですので、例えば、中高連携校の
工事の進捗状況だとか開校にむけての前ぶれとして情報発信していいのではないかと。

- A 委員

矢島高校のホームページはありますよね。

- 事務局

矢島高校のホームページはあります。その中には進路情報も掲載されておりますし、中
高連携校の鳥瞰図等を掲載されております。

- B 委員

ホームページを見られない人のために情報を流さなければいけないのではないか。

20 年 4 月に開校するのは、わかっているが、A 4 でもいいので地域住民の情報を知らせるべきでないか

- F 委員

毎月出せないとすれば、隔月でもいいと思う。インターネットを見られる人は非常に少ないと思う。

- D 委員

このさくらマップというのもインターネットとかホームページだけなのか。それとも市民に配布等を行うのでしょうか。3 分の 2 は知らないことになると思う。今度こういうものを作ることになりましたと一部カラーにして配布してもらえればいいと思う。知らないことが沢山あって、何をやっているのかわからない。インターネットだけでなく刷り物で流してもらいたい。

- B 委員

矢島地域が一番遅れているが、このあとケーブルテレビ事業が行われます。CATV が整備されれば相当の情報が得られる。茶の間に居ながらにして得られるようになるのでだいぶ違ってくると思う。矢島が一番遅れている。

広報よりもケーブルテレビの方が頭に残ると思う。目で見えるものは違うと思う。

- D 委員

自分たちが流してもらいたい情報を言えば流してもらえと思う。

- 村上典夫支所長

地域限定版ですが、支所だよりというのも出しております。

- 鈴木清会長

鳥海山ろく線の方まで話が進んでおりますので、全般的なところでお話しをいただきたいと思います。

- A 委員

ちなみにケーブルテレビの申込状況はどのようなものか。

- 事務局

現在、ケーブルテレビの関係では、市で行っているテレビ共同受信に加入されている 650 世帯余りの方を対象にケーブルテレビへの移行確認をさせていただいております。

2 月 29 日までの期限となっており、500 世帯ぐらいから戻ってきており、その約 9 割については、ケーブルテレビへ移行したいという状況となっております。矢島の全体からみると約全世帯の 4 割程度はケーブルテレビに加入するのではないかと思いますし、このほか難視聴で市のテレビ共同受信以外で行っている組合を含めると加入率は 5 割ぐらいになると思われます。

新年度に入りましたら現在アンテナを上げて見ている世帯に関しても説明会を開催して理解いただきながら、7 月ぐらいから正式の申込を行っていく予定となっておりますのでその際は全世帯に申込書を配布し、10 月末まで申込を受け付けすることとなっております。それによりどれくらいの方に加入いただけるかということになっております。

- A 委員

テレビ共同受信を行っている人とアンテナを上げてみている人との経費の差はあるのか。

- 事務局

どちらが高いや安いかということはありません。誰でも加入したいという方は加入できます。

- 鈴木清会長

他にありませんでしょうか。ないとすれば、行政に対する要望ということでも構いません。

- F 委員

以前は矢島の支所は、矢島の人だけであったが、最近は各地から職場が変わって本荘や由利の人が来たりしている。来年ももっと交流が盛んに行われると思う。そうすると矢島に矢島以外の人がいるようになると思う。今年度、職員と接してみてちょっと寂しいと思ったのは支所の中で職員間の仕事上の連絡不行き届きがあった。

「ツー」と言えば「カー」といかず仕事がうまく流れないことがあった。例えば、案内人の会で夏に鳥海山の方へ来るということで春から依頼を受けていました。また市議会議員の方が矢島に視察に来てそれを案内人の会で案内をする予定だったが、当日になるまで変更の連絡がないということあった。また、8 月の上旬に花立に 2 組の方たちが観光旅行で来るようになっていたが中止になったということが土壇場までわからなかった。それですっと待機していた。また、市議会議員の方が来るということで支所の前で待っていたが、いつまで経っても来ないので支所に聞きにいったら、家中を回るのコースから外れたのでここには来ないということであった。早くから予定変更は決まっていたらしいが案内人

の会にはそれが届かなかった。そのようなことがあったため面白くなかったのだが、そのあと山寺の会場前は駐車禁止なのだが、そこに市議会議員の乗ってきたバスが止めてあった。もっと気を遣ってもらいたいものだ。

その日の夜になってから担当の課長さんが戸別訪問して謝りに来ました。

また、別の会ですが、9月に退職公務員の会で日新館前の広場でグラウンドゴルフがあったが、事前に使用許可を得て、前もって準備にきた時に、当日小学校で花立へいく遠足だったようだが、たまたま道路が崩れて行けなくなり、町の中を回ったようだが、そのあと行くところがなくて、その広場でご飯を食べて遊んでいた。

その日は、広場が予約されているのだから他に貸すことができないのでないか。まだ驚いたことがあった。広場で芝刈りをしていた。そのような中で小学生が遊んでいた。結局グラウンドゴルフは、室内運動広場でやることになってしまった。

教育委員会で了承を得ながら、小学校の遠足が予定変更して使用できなくなるとすれば事前に連絡があってもいいのでないか。また、支所のどこの課で担当しているのかわからないが、人夫の人が何人もして芝刈りをしている。そのような横の連絡もないのもおかしいなと思った。

また、お祭りの日に案内人の会でお客さんを案内していたが、最終的な場所が八森苑になっており、八森苑に送っていったら支所の職員がいたがバトンタッチとかそのようなことがなく、案内した人たちは中に入り「ごくろうさん」も何もなくてそれっきりとなった。昔は連携プレーがきちっとしていたが、それがなくなったような気がする。人が代わっただけでなく何かがなくなったような気がする。よその人がきたことが悪いというのではなく、いちいち確認しないと届かないことがあるのでないかと思う。今後はこのようなことがないようにお願いしたい。

● B 委員

前回の幹事会で話をしたのですが、昨年意見書を出したので今年度はいいのでないかという意見ありましたが、せっかく協議会で話をしているのだからなかなか結論はでなかったが、合併後の行政の進め方等についても要望等を出したらどうかという話をしました。

前回、副市長が来て説明したときの話のときに私は欠席しましたが、会議録をみると私が思っていることが発言されていたのですっきりしましたが、矢島だけではなくて周辺の地域でも、合併したらマイナスの方だけ聞こえてきている。ここに出席している委員皆様に合併してよかったことと悪くなったこととどちらが多いか聞きたい。もし、良くなった方が多いとすれば、意見書の提出を必要なのでないかと思う。今日の協議会には半分以上出席しているので意見を聞きたい。

● F 委員

私は、緊張感がなくなったのでないかと思う。よそからきた人がいるからではなく人数

も少なくなり緊張感がなく、明るさがなくなった。「おはよう」だとかあいさつが少なくなった。何か「せやみ」になったようで自分から仕事を見つけてするのでなく、言われたことだけをやるというような気がする。何か頼んでも「わかりました」とすぐやってもらえない。本荘と相談しないと答えられないというようになった。それでいてすぐ電話をするわけでもない。時間がかかるようになり、動きが悪くなったような気がする。

- B 委員

職員の全体的部分と行政の動きとしてマイナスだと発言があったが、皆さんに聞きたいのは、全体の中でもいいので意見を聞きたい。

- I 委員

緊張感がなくなっているのは確かだと思う。町の時代は、町が決定したことで議会があったが、今は議員もいなくなり、本庁の方だけを見ているのではないかと。朝、「おはよう」といっても、機械ばかりみて返事も返ってこない。人の顔を見てくれない。こちらは、見たことない職員が一杯いて誰だかもわからない。あいさつぐらいは返してもらいたいものだ。結局覚えている職員のところにいて、いつまでたっても知らない職員をそのままになってしまう。

何か頼んでも、自分たちで判断できない。本庁に相談しないと何もできない。すぐその場で返事がもらえないということで仕事の流れが遅くなっているかなと思う。もう少し合併したのだから「あいさつ」ぐらいもう少し明るくしてもらいたい。

- C 委員

今と同じようなことですが、人事交流は非常に大切だと思う。この地域に来たらこの地域の人になってもらいたいと思う。8時に来て5時に帰るといって地域に人ではなくただ通って来ているだけのような感じがする。やはり地域に溶け込み、地域の状況を見ていただければ今のようなことがなくなるのではないかと。色々な会の中で案内を差し上げて参加していただけないということがあるので、地域に根ざした色々な会があるので出ることにより、支所に行った際にあいさつも交わせるようになるものと思う。

- D 委員

合併していいことだとか悪いことだとか、ある女性に聞いたことがあるが、本荘市の方にみんな向いているような感じがする。支所に行っても知らない人がいるので、写真入りでここにこのような方が来ましたというようなものを広報で流してもらえればいいのかと思う。やはり知らない方より知っている方に足が向いてしまう。

- B 委員

副市長が来た際にも話が出ているが、本荘地域では仕事を一杯している。私たちが頼めば予算がないと言い、いつできるかわからないと言われ、実際どうなのかというこの地域協議会で聞こうと考えるところである。

あまり細かくではなく大雑把に聞けばいいのかなと考えています。本荘地域は実際下水道とか道路とかの整備が遅れている。本荘から良くなってもらわなければいけないのですが、周辺地域では、すべてが本庁に決裁を受けなければ何もできない状況の中で本当のお金がなくて事業ができないのなら、本荘もあんなに大きな事業はできないのでないか。本当の気持ちです。

● G 委員

不公平感を感じます。みんなで一緒になって由利本荘市を作ったのに周辺地域で独自で行ってきたことを一機に本荘市のやり方に合わせて全部それをやってしまうようなことが色々な面であるのではないか。そうすれば働いている職員の方も中央にいれば中央だけを見て、周辺に配属された職員は本庁しかみずに住民の方はみない。常に本荘地域の方しか見ないというふうになってしまっている不公平感を感じる。実際支所に行き肌で感じることはないけれど、新聞等で突然出張所を廃止とかスキーを止めるとか、じゃあそれは誰が決めたのか。そのうちそれはやらないことにするとか、合併協議会の中で「当分の間」とか話し合ってきたものを反故にするとかそういうことが多すぎるのではないかなと思う。

一人の人がそれを必要としていたらそれをやるのが行政の仕事でないか。数が多いからやるのが行政ではなくて、笹子の奥に必要とする人がいたらそれを可能にするのが行政だと思う。ですから人事面を含めて旧本荘市にいた人が牛耳ってしまうというのは困ると思う。実際はどうかかわからないがそのように感じる。まずは不公平感をなくしてもらいたい。

● B 委員

市に対して意見書または要望書を出すか出さないかも含めて話をしたいと思っています。出すとすれば、今日話しをしたことも含めて出したいと思います。

● F 委員

スキー場のことだけど、何かやろうとした時、皆さんの早く広報するべきだと思う。例えば、ナイターを3月にやめるということをどこに発表したのか。スキー場の一部に貼っただけで新聞やテレビなどに流していない。スキー場のチラシにも3月にナイターを金土しかやらないとは書いていない。人の話によれば、鳥海でナイターをやるので鳥海で滑ってくれということで矢島のスポ少が鳥海に行ってナイターをやらなければいけない。

3月20日を過ぎれば、31日までは矢島でナイターをやってください。ということだが、今までの例では2月、3月になってお客が来なくなれば、営業日数を延ばせば延ばすほど赤字が増えていくというのはわかるが、3月一杯やるといったのだったら期日までやって

もらいたい。それをやりながらお客さんが減ってきたら、シーズンはじめでなく途中から止めると発表になったり、圧雪車でコース整備する際、コースを圧雪したときに重ねて整備したときは10回いかなければいけないが、重ねないでいけば7回で済むかもいれない。また、耕運機みたいに掘っていくのでゆっくり丁寧に整備するところを、ミルを使わず這いならしで行くとか、整備がしっかりなっていないことがある。聞くと経費削減だからという。みかけは立派だけど内容が伴っていない。今行ったナイターをやらないことも広報不足だと思う。

クワッドリフトですが、去年は、頂上まで4分という宣伝をバンバンしていたが、お客が少なくなると、リフトのスピードが遅くなり5分30秒もかかる。搬機の数全部かけずにしている。営業する側からすれば無駄のないことだと思うが、利用者は、時間券を買っているのに、時間がいくらかとなる。1時間10本乗れるものが、6本しか乗れなくなってしまう。それは切符を買った人にウソをついていることになる。

スピードを秒速5mにするとお客さんが乗れなくてだめだとのこと。この間、3日間天気が続き、お客さんが多くきたときに、1時間うちに3回も止まったそうである。それは、お客さんが乗れなくて止めたということだが、それではいつまでたっても同じだと思う。お客さんだって段々慣れてくると思う。なんか言い訳が多いような気がする。

- B 委員

それでは、意見書の件についていかがでしょうか。先ほど、不公平感については意見がありました。あと職員のやる気がない。活気がないということは、本庁との関係の中でこれまでは町長を頭にした住民との関係の中だったが、ところが今は支所に行ってお金のお話をするとすべて本庁である。だからといって本庁にいてもそんなにすんなりに行くわけではない。それよりほとんど通らないと聞いている。それではまずいと思う。合併はそんなに良くならなくても、そんなに悪くならないと思いながら合併してきている。

現時点、過去三年間で旧町単位の実際お金をいくら使ったのかという数字で出してもらえれば一目瞭然なのかなと思う。この会としてそういう要望を出しても失礼でないのかなと思う。

出してもらえれば、不公平感等も合っているか違っているか、確認できると思う。われわれの思いを払拭できるようなデータを提示してもらわなければいけないと思う。

- F 委員

矢島はお金を使っている方だったと思う。この間、副市長の説明の中にも、スキー整備だとか中高連携校建設など行っているとのことだったと思う。本荘と矢島は一杯お金を使っているみたいだ。

- I 委員

行政側の3年間を見てきているが、支所をないがしろにしているような気がする。まだ合併して3年目で一番不安に時期に支所のおもむきを感じられないような気がする。すべて本庁からの押し付けみたいで、この間の説明会もそうであるように、あのような問題は本当であると支所で最初に揉んで地域で協議しながら本庁で取り上げて、議会説明、地域に説明を行うというのが本当だと思う。それもしないで地域協議会に持ってきて、そして議会説明を行ってそれで通そうというああいう横暴なやり方はないような気がする。関係ある地域では、十分協議しなければ大変なことが起きてくると思う。もう少し本庁は支所を大事にして支所の声を十分くみ上げてほしい。という要望をしておきたいと思います。

● J 委員

かなり強力な発言だと思うが、合併する際、本所と支所の機能でやっている支所なので当然、中枢は本所が持つべきであるからわかりますが、各総合支所の機能がもう少し質を高めてもらわないと、ご相談行った際になかなか答えが返ってこない。いちいち本所に伺いをたてなくても、ある程度の通常業務の部分について担当課にいくか、支所長にいくかあると思うが、通常業務への職員の質を高めながら連絡を密にして対応してもらいたい。

良くなったか悪くなったかということは、感情論でいってしまえばいけないので、合併する際、容易でなく合併しているので、これぐらいは我慢しなければというところもあるので、もっと市民と職員との連絡がスムーズにいけば、そんなに咎めなくてもあまり格差だと言わなくても、合併時に決められた年次計画の中で行われているとすれば、ある程度は飲み込まなければいけないと思う。ただ、咄嗟に昨年の水害だとか何かあった時は、もう少し応分の遅れている方に手当してもらいたいと思う。付け加えて言うと高原鉄道の件ですが、中高連携校の絡みで存続の要望を出していただきましたが、矢島の人が本荘にいけばお金がかかるから地元に入ればいいとなると、本荘から来る人がお金をかけて来るのだから、市としての思い切った判断をいただかないと容易でないかなと思う。実は由利高原鉄道の料金の見直しもささやかれており、近々会議もあるようですが、この経営難の時に前の協議会でも協議したが、「困った、困った」といいながら、あればいいが利用するのは本人次第では、これをみんなで利用する。また使ってもらえる人の層をきちっと確保する。後押しするために補助金も減らされてきている。もっと増やしてもらいたいところだが、本当は嵩上げをしてもらいたいものだと思う。必要な所への支援の配慮だけは行ってもらいたいということだけは要望事項に入れてもらいたい。

あと、ナイターの取り止めについて、なにも連絡がないのはどうかなと思う。3月1日の支所だよりや広報などに掲載するべきだったのでないか。

● I 委員

由利高原鉄道のことですが、内陸線と高原鉄道の違いというのは、由利高原鉄道は、由利本荘市単独の鉄道です。内陸線だと北秋田市だとか跨いでいるので存続に無理があるか

もしれないが、由利高原鉄道は由利本荘市の足だということで、応分の負担を行政が少しは出してもらわなければならないような気がする。

- B 委員

流れとしては、赤字の部分は廃止していこうというふうになっている。大きな流れの中では出て可能性が十分あると思う。

- I 委員

県はもう支えきれないということで見切りつけて県の助成金はなくすとなれば、その分を由利本荘市で応分の負担をするぐらいの気持ちをもってもらいたい。

- B 委員

いずれこの地域の住民の盛り上がりと熱意が存続へ影響を与える物と思う。みんないないというのであれば、お金を出す必要もないと思う。内陸線も存続について話しが出てきているので、由利高原鉄道にも近々出てくれば大変なので、その時のために前もって乗車運動を自らやしていこうということを言いたい。

- G 委員

ちょっと、通勤などに使えなくても自分たちでもり立てていこうとか、残していこうという発想が町内会の飲み会をそこでおばこ号を借りてやってみるとか、微々たる金額だけど、自分たちが残そうとがんばることが繋がっていくのでないか。行政にお願いすることは、もちろんお願いして、今車を持ってしまった人は通勤に使うのは難しいと思うので何か行事に使うということで、始めはいいのでないかと思う。

- J 委員

この協議会もおばこ号で行ったらどうか。

- B 委員

矢島、由利、鳥海で合同で協議会を行ったらどうか。車両があればできるので呼びかけたらおもしろいと思う。まず矢島だけでやってみるということもあるけれど。

- J 委員

私はこの前、市議会議員の方に年4回の定例会の時ぐらいは、マイカーではなく高原鉄道で出勤して下さいとお願いしました。何人乗ったかどうかは判らないが。この間、議会だよりに高原鉄道に乗って視察したとあったが、その後みんなで乗ろうとはかかれていなかった。できれば会長さんからお願いしたい方がいいと思う。

- B 委員

この会は、議会でも何でもお願いはできるはずである。議会でもこのような運動をしてもらいたいと出せると思う。アピールの部分ではとってもいいことだと思う。

- 鈴木清会長

だいぶ厳しい意見もでしたが、これを幹事会で取りまとめて意見書として提出することで皆様にご了解を得たいと思います。よろしいでしょうか。

年度を越えると思いますが意見書として提出したいと思います。

- B 委員

先ほどの 1 市 7 町の旧町単位の話は、さきがけ新聞をみておりませんが過去 3 年間のものが載っておりますか？

- 佐々木永吉理事

先般、議会の一般質問にて副市長が答弁しておりますが、地域によって数字は違うのでご了承いただきたい。人口だとか年度によって違ってきている。西目だとか矢島、本荘のように学校を建てなければならいとなると、その部分が上がってしまう。それが終わると下がってしまいます。そういうことがあるので過去 3 年間のかけた事業費だけでバランスがとれているかどうかという判断は難しいと思う。

- B 委員

全市民に教えてもらいたいということではなく、協議会委員については、矢島地域にどれくらいかけているか判っている。すべて平らにしろというのではなく、どこかに不公平感があると感じられるため、それを払拭する意味でデータを出してもらって説明してもらえればいいことと考えている。

- K 委員

意見書を取りまとめて出していただくことも結構ですが、その場合この地域から出ている市議会議員にもがんばってもらわないといけないと思う。意見書や要望書をこの地域から選出された議員にも伝えておくべきだと考えます。その方が効果があるものと思う。

- B 委員

議員のこのように提出しましたと出すのは大丈夫ではないでしょうか。

- 佐々木永吉理事

市長あてに意見書、要望書を出したものを議員にこのように提出しましたということで配布することは特に問題ないと思います。

- J 委員

昨年 8 月に、行政協力員連絡協議会では、このような時勢に中、各地域の要望を早期に実現したいということで、8 月いっぱい各地域から要望を提出してもらい 11 月末に回答をいただきました。水害の問題から日ごろの地域の要望等をいただき、40 数件が提出されたと聞いております。まだ要望すべてができていないと思いますが、これはすべて年度計画外のことであり、支所長さんの配慮のもとに実ったものと思う。それぞれの地域課題が、実現されたもの次年度に延ばされたものもあるやに聞いておりますが、そのようなことも行われているということをこの協議会でも知っておいていただきたいと思います。

尚、合併したときから 10 年計画が出ていますと思いますが、矢島地域や他地域の計画をすっかり判っている方や判っていない方がいるかと思いますが、10 年計画の中で行われているとすれば錯覚しないよう、幹事会で検討を行ってもらいたいと思います。

- 鈴木清委員

10 年計画等の状況を再度確認しながら慎重に検討していきたいと思います。

- 事務局

地域協議会の内容がホームページに掲載されるという件について

- H 委員

情報についてはいつまで掲載されるというのはあるのか。いつまで経っても昔の情報が載っているのでは困る。期間を決めて掲載するべきでないか。掲載後はまた新しい情報を載せるといい方がよいのでないか。資料として見られるのはいいが情報の垂れ流しがないようにしてもらいたい。

- 鈴木清会長

この会議録がそのまま掲載されるのか。

- 事務局

決められた様式により掲載されることになります。

- B 委員

名前まで掲載されれば、発言できなくなるのでないか。

- 鈴木清会長

発言した委員の名前が載るといのはいかなものか。

- 佐々木永吉理事

掲載内容については、今後企画調整課と協議していきたいので時間をいただきたい。
詳細部分のプライバシーに関わる部分については検討していきます。

- 鈴木清会長

名前は掲載されないような方向で検討をお願いいたします。

他になればこれをもちまして、第 6 回矢島地域協議会を終了いたします。

以上終了